平成３０年度　常盤坂増圧ポンプ場地質調査業務

特　記　仕　様　書

弘前市上下水道部

第　１　章　　総　則

第1条　適用範囲

本業務の施行にあたっては、青森県県土整備部制定「地質・土質調査共通仕様書（平成２９年１０月１日以降適用)」（以下「共通仕様書」という。）に準拠するほか、本特記仕様書に基づき実施しなければならない。

共通仕様書と特記仕様書が一致しない条項は、特記仕様書が優先する。

第2条　目的

本業務は、常盤坂増圧ポンプ場建設の設計資料とするため、地質調査業務を行うものである。

第3条　委託期間

本業務の委託期間は、契約締結日翌日から平成３０年１０月３１日までとし、成果物の納期は原則として委託期間に準ずる。また、業務の実施にあたって、成果物の一部について早期に完成を求め、その使用を請求する場合がある。

第4条　一般事項

１）受注者は、作業前に発注者と充分協議のうえ、作業日程並びに仕様細則を定め、作業が遅滞なく進行するように努めなければならない。

２）本業務の遂行にあたっては、監督員の指示に従って正確かつ丁寧に行い、疑義が生じた場合は協議の上、その指示または承認を受けなければならない。

３）業務に必要な資料は、発注者より貸与するが、資料は丁寧に取扱い、業務完了後、速やかに返却しなければならない。

４）土地への立ち入りにあたっては、関係者への周知を図り、立ち入りの承諾を得てから作業を開始するものとする。

５）業務の成果品及びその資料は、すべて発注者に帰属するものとし、他に公表、貸与してはならない。

６）本仕様書に明示されていない場合でも、作業上必要なものについては、原則として受注者の負担において実施するものとする。

第5条　提出書類

提出書類は、契約約款及び共通仕様書によるもののほか、監督員の指示によるものとする。

第6条　暴力団または暴力団関係者による不当介入に対する通報・報告義務他

受注者は、受注者及び下請負人に対して暴力団又は暴力団関係者による不当介入があった場合は、警察及び発注者へ通報・報告しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力を行うものとする。

第7条　情報セキュリティーポリシーの遵守

受注者は、情報セキュリティの重要性について共通の認識を持つとともに、業務の遂行に当たって「弘前市情報セキュリティーポリシー」を遵守すること。

第　２　章　　業　務　内　容

第1条　業務内容

本業務は、常盤坂増圧ポンプ場建設の設計資料とするため、地質調査業務を行うものであるが、業務の内容については、以下のとおりである。

業務内容	検　討　項　目　等
機械ボーリング調査 （φ６６㎜）	調査孔数　　N=４孔 ○粘性土・シルト 8.0m×4孔　＝ 32.0m ○砂・砂質土 3.0m×4孔　＝ 12.0m ○礫混じり土砂 4.0m×4孔　＝ 16.0m 計　60.0m
サウンディング及び原位置試験	○標準貫入試験 各土質　１m／１回 ○孔内水平載荷試験 粘性土・シルト　２箇所 （試験用ボーリングφ86㎜×7m）
室内土質試験	○土粒子の密度試験 各土質１回　３土質×１回＝３試料 ○土の含水比試験 各土質１回　３土質×１回＝３試料 ○土の粒度試験（１） 各土質１回　３土質×１回＝３試料
解析等調査業務 （直接調査費分）	資料整理とりまとめ、断面図等の作成

第2条　成果品の仕様、提出部数

・本業務の成果物の仕様・提出部数は表－１のとおりである。

表－１　成果物の仕様・提出部数

図書名	仕様等	提出部数	備考
報告書	Ａ４判製本 黒表紙金文字入り	２部	
電子データ	Word、Excel、DXF 等	１組	ＣＤ－Ｒ
その他（必要に応じ）	協議による		

・成果物については、Word、Excel などの汎用性の高い電子媒体により作成し、検討書、計画書、各種計算書などの一切を含めた原稿及びＣＤ電子データを提出するものとする。

・成果物の納期は原則として委託期間に準ずるが、一部成果物については、早期に完成を求め、その使用を請求する場合があるので、監督職員と十分に協議し進めること。

地質調査業務　数量一覧表

（1） 地質調査深さ（φ66mm）

調査孔	土質 (m)					計画深さ (m)
	粘性土・シルト	砂・砂質土	礫混じり土砂	玉石混じり土砂	固結シルト・固結粘土	
No,1	8.0	3.0	4.0			15.0
No,2	8.0	3.0	4.0			15.0
No,3	8.0	3.0	4.0			15.0
No,4	8.0	3.0	4.0			15.0
計	32.0	12.0	16.0			60.0

（2） 地質調査深さ（φ86mm）

調査孔	土質 (m)					計画深さ (m)
	粘性土・シルト	砂・砂質土	礫混じり土砂	玉石混じり土砂	固結シルト・固結粘土	
孔内水平載荷試験用	7.0					7.0
計	7.0					7.0

（3） 施工日数計算表

土質名	日当たり作業量	単位	作業量	日数
土質ボーリング（ノンコア）φ66 粘性土・シルト	7.0	m	32.0	4.6
土質ボーリング（ノンコア）φ66 砂・砂質土	6.0	m	12.0	2.0
土質ボーリング（ノンコア）φ66 礫混じり土砂	4.0	m	16.0	4.0
土質ボーリング（ノンコア）φ86 粘性土・シルト	6.0	m	7.0	1.2
サウンディング及び原位置試験（標準貫入試験） 粘性土・シルト	12.0	回	32.0	2.7
サウンディング及び原位置試験（標準貫入試験） 砂・砂質土	10.0	回	12.0	1.2
サウンディング及び原位置試験（標準貫入試験） 礫混じり土砂	8.0	回	16.0	2.0
サウンディング及び原位置試験（孔内水平載荷試験） 普通載荷	3.0	回	2.0	0.7
現場内小運搬（特装車運搬） 100m以下	5.0	t	1.3	0.3
足場仮設 平坦地足場	2.0	箇所	4.0	2.0
その他間接調査費 準備跡片付け	1.0	業務	1.0	1.0
計				21.7
			≒	22

＊日当たり作業量は、「設計業務等標準積算基準書　第2章　地質調査標準歩掛等」による。